

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業構想【福祉／生活支援技術】

1 単元名

「私たちの暮らしと生活支援」

*科目「こころとからだの理解」で高齢者の健康を扱う際に、科目横断的に取り組めるとよい。

2 単元目標

- (1) 生活の定義について関心をもち、要介護者や家族の生活を重視した介護の在り方について主体的かつ協働的に課題解決に取り組むことができる。
- (2) 個人の尊厳や倫理観を踏まえ、高齢者や障害者に対する自立生活支援の在り方について思考を深めている。
- (3) 介護現場で求められるチームアプローチの技法を身に付ける。
- (4) アセスメントの意義・役割を踏まえ、サービス利用者とその家族のニーズを把握し、ICFを活用したアセスメントの方法について理解できる。

3 単元の指導計画（16時間）

- (1) 生活支援の理解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間
- (2) 生活支援に向けたアセスメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- (3) 生活支援に向けたアセスメントに関する事例検討・・・ 6時間（本時）

4 小単元(3) 生活支援に向けたアセスメントに関する事例検討の目標

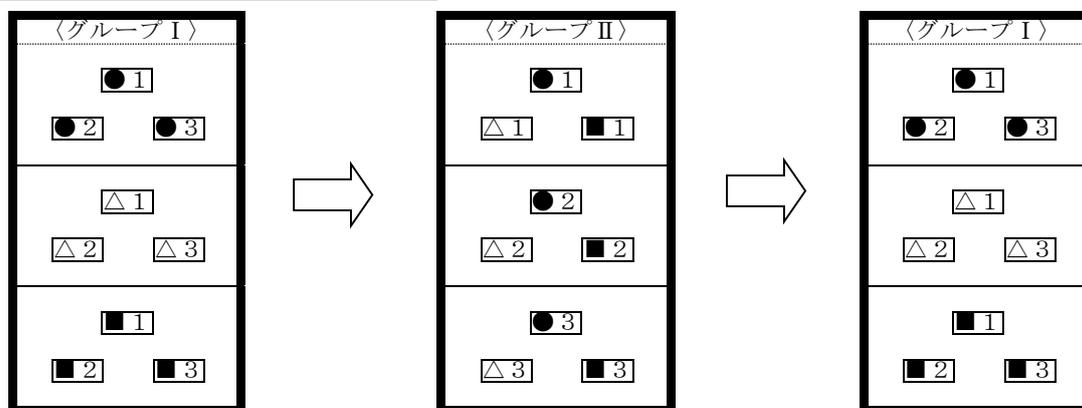
- (1) 介護職に関心をもち、高齢者の生活を支援するための情報について、適切に把握しようとする態度を養うとともに、ジグソー法におけるグループワークに意欲的に取り組む。
- (2) 事例を多面的に捉え、高齢である利用者の視点に配慮しつつ、よりよい生活支援ができるよう、考えることができる。
- (3) 高齢である利用者の現状を把握し、適切な生活支援について、確かな情報と根拠に基づき配慮ある提案ができる。
- (4) 高齢者が罹患しやすい疾病や日常生活への影響を理解する。

5 小単元(3) 生活支援に向けたアセスメントに関する事例検討の授業展開（6時間）

1 時間目	<p>ジグソー法を活用した授業展開についての説明と各分野のエキスパート（グループ）の決定</p> <ul style="list-style-type: none">・事例を基に高齢者への適切な対応等について考察し提案することを認識する。必要な情報を収集し、各グループで議論することを知る。・事例の情報をまとめる。[ワークシート1]・「糖尿病」「認知症」「特別養護老人ホーム」「食事摂取量」「バイタルサイン」「腹部の病気」について、各分野のエキスパート班を決定し、次回の授業までに班員各自が担当分野の調べ学習を行う。[ワークシート2] <p>※インターネットによる正しい情報収集の方法を伝えておく。</p>
調べ学習 (1週間程度)	<ul style="list-style-type: none">・疾病に関する原因や症状等について、教科書や厚生労働省等のウェブページを活用して情報収集を行う。[ワークシート2]

2 時間目	事例の高齢者に関する情報の共有 ・〈グループⅠ〉で各エキスパート間の情報共有を図った後、〈グループⅡ〉に分かれる。[ワークシート2] ※各分野のエキスパートが一人以上入るように〈グループⅡ〉を決定する。 ※エキスパート（〈グループⅠ〉の各班員）は、自分が調べてきた内容を〈グループⅡ〉の班員に伝える。
3 時間目	介護福祉士にとって、事例の高齢者に対する実施可能な支援内容を考える ・〈グループⅡ〉で、意見交換するとともに協議の上、適切な支援を決定する。 [ワークシート3]
4 時間目	支援方法の決定と情報収集 ・支援方法の決定後、〈グループⅠ〉に戻り、各分野のエキスパートがリスクや今後の見通しについて、〈グループⅡ〉で得た支援方法について情報交換する。 [ワークシート3]
5 時間目	リスクマネジメントについての考察 ・エキスパートから与えられた情報を基に〈グループⅡ〉でリスクマネジメントに関する考察を行い、緊急時の対応等を決定する。[ワークシート3]
6 時間目	学習内容のまとめ（演習） ・これまでの学習内容を踏まえ、新たな事例について介護福祉士に実施可能な支援について考える。[ワークシート4]

ジグソー法によるグループ学習の展開



6 小单元（2）生活支援に向けた「ジグソー法を活用したアセスメント」の評価規準

(1) 介護職に関心をもち、高齢者の生活を支援するための情報について、適切に把握しようとするとともに、ジグソー法におけるグループワークに意欲的に取り組もうとしている。

[関心・意欲・態度]

(2) 事例を多面的に捉え、高齢である利用者の視点に配慮しつつ、よりよい生活支援ができるよう、考えを深めようとしている。

[思考・判断・表現]

(3) 高齢である利用者の現状を把握し、適切な生活支援について、確かな情報と根拠に基づき配慮ある提案ができる。

[技能]

(4) 高齢者が罹患しやすい疾病や日常生活への影響を理解している。

[知識・理解]